

推進項目・実施項目		令和7年度の取組内容と達成状況等	達成状況
1 協働の更なる推進	○市民参画・協働にかかる制度の効果的な運用		
	SDG s 提案制度を活かしたまちづくりの促進	SDG s 提案制度（協働事業提案制度含む）への応募件数 【令和7年度】 7件 累計75件 ・令和7年度は、指定テーマ「Smart Wellnessわらび ～健康で幸せなまちづくり～」の1件、自由テーマの6件の計7件の応募があり、うち6件を採択した。	△
	幅広い世代の市民参画の促進	【令和7年度】 ・審議会等の開催、パブリック・コメント、市民意識調査等を適切に実施した。また、スマートフォン等からの意見提出に対応できるようパブリック・コメント運用マニュアルの改訂を行った。 ・市長タウンミーティングは、市内7会場で実施し、674名が参加した。 ・審議会等の公募委員の割合は、20.9%となった。	○
	○多様な主体との協働によるまちづくりの推進		
	地域力を活かした住み良いまちへの取組支援	自主防災組織の防災訓練実施率 【令和7年度】 91.9%（37自主防災組織中34自主防災組織が実施済み） 交通安全啓発活動 【令和7年度】 （スクエアド・ストレイト教育技法による交通安全教室） 蕨高等学校で実施 （交通安全意識啓蒙キャンペーン） 16回 ※令和5年度 17回 市内への防犯カメラ設置台数 【令和7年度】 449台	△
	公民連携の更なる充実・強化	協定締結数 【令和7年度】 3件（平成26年度からの累計は63件） 和楽備神社と「災害時における施設開放に関する協定」、住友生命保険相互会社と「包括連携に関する協定」、笑美キッチンカー協会と「災害時におけるキッチンカーによる炊き出し等の実施に関する協定」	△
	民間との連携による施設の整備・事業の運営	「にぎわい交流拠点」の整備 【令和7年度】 ・令和7年3月に「蕨市仮設庁舎跡地利活用基本計画」を策定し、同計画に基づき公共機能部分（物販施設、広場等）及び民間機能部分（飲食施設等）について、それぞれ整備事業者の公募・選定を実施 ・民間施設部分については、令和8年2月に「珈琲所コメダ珈琲店蕨宿店」が開業 ・公共機能施設部分については、令和8年3月に施設の設計概要等に係る市民等への意見募集を実施 認可保育園・留守家庭児童指導室の整備 【令和7年度】 ・留守家庭児童指導室については、令和7年4月に「キッズクラブわらび東」を開設するとともに、事業者の公募を実施（令和8年4月1日に「キッズクラブ蕨南」を開設）	○
	関係機関との連携による空き店舗対策の推進	空き店舗有効活用事業補助金を活用して出店した事業者の件数 【令和7年度】 5件 ※令和6年3月に蕨市、蕨商工会議所、金融機関、不動産、蕨市にぎわまちづくり連合会等で構成された蕨市エリアリノベーション推進協議会を設置するとともに、令和6年11月14日に空き店舗等の有効活用等を通じたにぎわいの創出、地域経済の活性化を目的とし、蕨市、蕨商工会議所、株式会社ジェクトワン、株式会社埼玉りそな銀行の4者からなる空き店舗有効活用等の促進に関する協定を締結するなど、官民連携による空き店舗対策を推進している。	△
	多文化共生のまちづくりの推進	外国人総合相談窓口支援件数 【令和7年度】 1,444件 ・主な相談内容は、住民登録・転出届などの行政手続きや国民健康保険、マイナンバー、税金に関する相談	○
	スマートウェルネスシティの実現に向けたまちづくりの推進	【令和7年度】 ウォーキングイベントや健康講座の開催、蕨あるこうキャンペーンの実施、公園への健康遊具の設置、ウォーキングコースの整備など、アクションプランに掲げた各取組を実施した。	○
	○地域資源の活用とまちの魅力の発信		
	蕨ブランドなどの地域資源の更なる活用・展開	商品開発・蕨ブランド認定品 【令和7年度】 わらびりんごの商品化：累計5件 蕨ブランド認定品：累計19件 ・わらびりんごについては、新たに「わらびりんごワイン」と「わらびりんごジャム」の2件を商品化し、計5件となった。各種メディアに情報が掲載されるなど、市の魅力発信に繋げることができた。 ・蕨ブランド認定品については、新たに3件の商品を認定し、計19件となった。蕨ブランド認定品の更なる周知を図るため、JR大宮駅前のプロモーション施設「まるまるひがしにほん」で販売会を開催したほか、各種イベントで蕨ブランド認定品ブースを設けるなど、PRを行った。 ・河鍋暁斎記念美術館については、広報紙・ケーブルテレビ等を活用した魅力発信に加え、暁斎の絵入りの酒器を新年あいさつ交歓会で配布した。 ※広報紙：毎月連載、ケーブルテレビ：7回放送、酒器：210個配布	○

推進項目・実施項目		令和7年度の取組内容と達成状況等	達成状況
	まちへの愛着醸成と市のイメージアップの推進	【令和7年度】 広報蕨等のほか、市ホームページは公式LINE等と連携しながら市の魅力やイベント等の情報発信を行った。また、市民音楽祭やわらびりんごサイダーの販売など、蕨市PR大使との連携などを通じて市の魅力の発信に取り組んだ。	△
	SNSの活用によるまちの情報や魅力の更なる発信	市公式SNSの登録者数 【令和7年度】 15,385人 ※令和8年5月時点 (X：3,857人、YouTube：1,610人、LINE：9,597人、商工観光課Instagram：321人) ・令和7年10月より市公式LINEの運用を開始し、市政やイベント情報、まちの魅力などをプッシュ型で配信した。	◎
2	○職員力の発揮		
職員力・組織力の更なる向上	時代の変化に対応した人材の確保と育成	【令和7年度】 ・職員の採用については、技術職及び保育士は、採用日を年度の中途とした試験を令和7年4月20日に実施。また、一次募集として、技術職は令和7年8月31日に、保育士及び保健師は令和7年9月21日に試験を実施。二次募集として、事務職（障害者及び福祉含む）、技術職、保健師、消防職は、令和8年1月18日に試験を実施。合わせて、155名の応募があり、104名が受験した。 ・職員の人材育成については、職員研修実施計画を策定し、計画に基づき階層別研修や自治大・市町村アカデミー等の派遣研修など各種研修を実施。 ・窓口サービスアンケートについては、令和8年1月14日から令和8年1月28日まで実施し、今後の接遇改善につなげるよう職員に部署別の結果及び個別意見をフィードバックした。 ・資格取得支援制度については、令和7年度は1名の職員に助成金を交付した。	◎
	健康で元気に働く職員・職場づくりの推進	【令和7年度】 メンタルヘルス研修並びにストレスチェック及び医師による面接指導を実施するとともに、健康情報誌の提供を行った。	◎
	公務員制度の改正に対応した人事管理	【令和7年度】 部分休業の取得パターンの多様化等の改正に伴い、必要な条例等の改正、新制度の職員への周知等を行った。	◎
	○時代に即した組織と業務運営		
	効率的・効果的な組織運営と定員管理	組織運営の実施状況 【令和7年度】 子育て支援の体制強化を図るとともに、子どもの貧困に関する事務を追加することで子ども未来課の所掌事務を明確化するため、子ども未来課の「子ども家庭係」を、給付に関する「子育て支援係」と相談に関する「子育て相談係」に分ける組織改正を行った。 定員管理の実施状況 【令和7年度】 定員管理の方針については、令和7年度に令和11年度までの定員管理の方針を定め、方針に基づく定員管理を実施している。	◎
	職員提案制度の活用	【令和7年度】 ・10月に職員提案等推進月間を実施し、1月に審査委員会にて受賞者を決定した。 ※職員提案数：11件、業務改善報告数：1件、成果功績報告数：2件 うち職員提案1件を導入	◎
	窓口機能等の利便性の向上	【令和7年度】 行政センターでの各種証明書発行や住民票異動手続、パスポートに係る事務等に関する課題の整理及び運営体制について、近隣他市の状況等を踏まえ、関係各課で協議を行い、業務内容を決定した。	△
	○大学との連携強化		
	行政課題の解決に向けた大学連携	【令和7年度】 東京医科大学との包括連携協定に係る取組として、令和8年2月11日に市民健康公開講座「小児食物アレルギーとアナフィラキシー～基礎と知っておきたい最新情報～」を開催し、146名が参加した。	○
3	○財源の確保		
自律した行財政運営	市税等の収納率の更なる向上	個人市民税収納率（現年＋滞納繰越分） 【令和7年度】 98.3% ・納税コールセンターからの電話催告、納付書付き納付書による一斉催告の実施、納税相談等を通じて、滞納者に早期自主納付を促した。 ・財産調査を元に滞納者の納付能力を見極め、資力に応じた滞納整理を実施した。 ・納期限ポスターの掲示や、市庁舎1階デジタルサイネージを活用し、納期内納付の周知・啓発に努めた。 ・徴収専門員を1名増員し、徴収体制の維持・強化を図った。	△
	再開発や定住促進による安定的な税収確保	新たな総合戦略の推進 【令和7年度】 令和7年3月に策定した「第3期 蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画初年度として、計画に位置付けた各取組を実施 蕨駅西口地区市街地再開発事業 【令和7年度】 施設建築物等の工事（躯体工事）を実施	△
	国民健康保険税の見直し	【令和7年度】 ・「埼玉県国民健康保険運営方針（第3期）」に合わせ、賦課方式の見直し（4方式から2方式）を図った。 ・令和5年度決算時と比較し、その他一般会計繰入金（赤字）が削減された。 ※令和5年度：269,716千円→令和6年度：103,847千円	○

推進項目・実施項目		令和7年度の実施内容等	達成状況
	多様な手法による財源の確保	ふるさと納税 【令和7年度】 市ホームページやふるさと納税ポータルサイトで周知を行った。 ※寄附実績：229件・155,545,315円 企業版ふるさと納税 【令和7年度】 更なる制度の積極的な活用を図るため、「蕨市企業版ふるさと納税マッチング支援業務」を実施 ※寄附実績：5件・1,600,000円	○
	○効率的・効果的な事務事業		
	新たな民間活力の導入と民間委託等の更なる推進	【令和7年度】 蕨駅西口地区市街地再開発事業のなかで開設予定である公共公益施設のうち行政センターについては、近隣他市の状況等の調査・研究を行うとともに、各事業者等とヒアリングを実施し、民間委託等の導入も含めた検討を実施した。また、図書館については、令和7年度に策定した「蕨市新図書館整備基本方針」の中で、運営方法を市の直営とすることが決定した。	△
	行政評価制度の適正な運用	【令和7年度】 対象事業：18事業 令和2～5年度に実施した4か年をサイクルとする行政評価について、検証・改善を加えたうえで、新たに令和7年度から10年度までの4か年を1サイクルとする行政評価（全80事業）を実施した。	◎
	その他事務事業等の見直し	【令和7年度】 がん検診の拡充 ・前立腺がん検診の個別検診を新たに開始したほか、乳がん検診を集団検診から個別検診に移行し、利便性と受診率の向上を図った。 各種補助金の見直し ・従来の木造住宅耐震改修補助金制度を拡充し、新たに耐震シェルター等の設置に対し、1/2（上限10万円）の補助を実施した。 ・地球温暖化対策設備等設置費補助金を拡充し、宅配ボックスを対象に追加した。	◎
	○自治体DX推進事業		
	デジタル技術の活用による市民の利便性向上と行政事務の効率化	【令和7年度】 新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型TYPE1）を活用した「母子健康手帳アプリ」、「ICTを活用した図書館サービス」、「LINEを活用した情報発信」など「蕨市DX推進計画」に掲げる7事業の運用を開始した。	○
	○将来に負担を先送りしない財政運営		
	ファシリティマネジメントの推進	【令和7年度】 公共施設の現状を把握するため、公共施設簡易劣化度調査を実施し、財政部局と情報の共有を図った。	△
	上・下水道事業の健全な財政運営	水道料金の見直し 【令和7年度】 ・4回の審議会を経て、水道事業の継続的な運営のために、令和8年4月1日からの水道料金を改定した。 ※改定率 水道料金：平均9.59%	○
	土地開発公社経営健全化の計画的な推進	【令和7年度】 活用可能な土地開発公社保有地については、駐車場利用として一時利用の促進を図ったとともに、利子負担の軽減を図るため、入札・見積もり合わせを行い、有利な条件で借り換えを行った。	○

実施結果（令和7年度末時点）	達成状況	項目数
実施済（中）	◎	8
一部実施	○	11
準備検討中	△	10
合計		29
達成度	◎・○	65.5%